

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で61cells/mL、ヘテロシグマ・アカシオが最高で13,400cells/mL、ケラチウム属が28cells/mL確認されました。

湾内には赤潮による着色水域もありますので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	水温(°C)	塩分	カレニア・ミキモイ	ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム属
鳴無	0m	22.8	22.4	15	13,400	0
	2m	22.8	32.1	40	1,270	18
	5m	21.5	33.1	61	40	8
中学校前	0m	22.1	9.3	0	360	1
	2m	22.4	31.7	33	140	22
	5m	21.4	33.0	36	160	28
光松	0m	22.4	15.6	-	-	-
	2m	22.0	31.5	19	320	11
	5m	21.1	33.0	1	60	1

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 50,000～cells/mL (魚類のへい死)
- ・ケラチウム属: 100～cells/mL (餌食いの悪化)

